

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## 国立民族学博物館研究報告別冊 no.001; 附録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-02-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長野, 泰彦 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/3405">http://hdl.handle.net/10502/3405</a>

附 録

青木文教師 年譜

1886. 9. 28 滋賀県高島郡安曇町常盤木252番地（正福寺）に出生。父，覚生，母，きく。
1909. 9 仏教大学（本願寺立・現在の龍谷大学）中退。
1909. 9 大谷光瑞の命により，インド仏教史蹟調査に出発。
1910. 3 ダライラマ13世にダージリンで拝謁。
1911. 1 大谷光瑞の命により，ロンドンで教育事情視察。
1911. 4 ロンドンを発ち，ダージリンへ向う。
1911. 5 チベット入学僧（留学生）ツァワ・デトゥーを伴い，帰国。
1912. 1 多田等観，ツァワ・デトゥーらとともにチベットへ向け，出国。
1912. 3 ダライラマ13世にカリンボンで拝謁。チベット入域許可を得る。
1912. 9 東ネパールを經由して，チベットに入る。
1913. 1 ラサ到着。教学顧問として滞在。
1916. 1 帰国命令によりラサを発つ。
1917. 4 帰国。
1918. 2 大谷光瑞の命により，東南アジア——特にジャバ——において約5年間熱帯農業調査。
1935. 10 羽田亨 京都帝大教授の委嘱により，約2年間チベット語の調査研究。
1941. 11 外務省調査局嘱託。約6年間チベット事情調査。
1947. 11 連合軍総司令部民間情報教育局顧問。約4年間チベット事情調査。
1951. 3 東京大学文学部講師。チベット語担当。
1956. 11. 7 逝去。

青木文教師 業績

- 1917 「現今の西藏」『六條学報』189。
- 1920 『秘密之國西藏遊記』内外出版。
- 1922 「西藏の建国より仏教の伝来するまで」『大東』1-5。
- 1922 「西藏仏教に現はれたる極樂願生偈の翻訳」『大乘』1-7。
- 1922 「西藏所伝の観音菩薩の研究」『大乘』1-8。
- 1922 「龍樹菩薩の極樂願生偈を論じて西藏密教の浄土思想に及ぶ」『大乘』1-11。
- 1922 「仏説阿弥陀經の西藏文和訳を紹介す」『大乘』1-12。
- 1923 「大無量壽經の西藏訳」『大乘』2-3。
- 1923 「西藏の仏教史概観」『大乘』2-4。
- 1923 「西藏訳般若波羅蜜多心經」『大乘』2-5。
- 1923 「鳥葬の話」『大乘』2-7。
- 1926 「西藏所伝王舎城所説無量壽經邦訳」『大乘』5-3, 5, 7, 8。
- 1926 「西藏所伝金剛般若波羅蜜經邦訳」『大乘』5-6, 7, 8。
- 1929 『西藏原本大無量壽經国訳』光寿会。
- 1931 『西藏遊記』商務印書館（上海）。
- 1940 『西藏文化の新研究』有光社。
- 1940 「西藏問題の重要性を論ず」『大乘』19-12。
- 1941 「西藏の聖徳太子宗弄讚幹普大王」『大乘』20-2。
- 1941 「喇嘛教に関する諸考察(1)(2)」『蒙古』108, 109。
- 1941 「西藏の神話と伝説」『大乘』20-4, 6, 7, 8, 9。
- 1942 『西藏の民族と文化』高原社。
- 1950 『なぞの国チベット（ローマ字）』ローマ字教育会。
- 1953 「チベットの神教と仏教」『世界仏教』237。
- 1954 「チベット文化財の保存」『読書春秋』5-1。
- 1954 「チベットの観音信仰」『大法輪』21-2。
- 1954 「チベット語の本質について」『言語研究』26・27。
- 1955 *Study on early Tibetan chronicles regarding discrepancies of dates and their adjustment* (手稿)。
- 1956 「ラマ教の発生と発展」『歴史教育』4-8。
- 1969 『西藏——第1部西藏遊記, 第2部チベット文化の新研究』(復刻), 芙蓉書房。